

取 議 発 第 6 7 号

令和 7 年 9 月 2 4 日

取 手 市 長

中 村 修 殿

取手市議会議長

山 野 井 隆

建設経済常任委員会における提言書の提出について（通知）

駅前のにぎわい創出に向けた施策に関する調査を実施した結果、建設経済常任委員会より提言書の提出依頼がありましたので、別添のとおり提言書を提出いたします。

駅前のにぎわい創出に向けた提言書

建設経済常任委員会では、取手駅西口に図書館機能を核とした複合公共施設整備を行う方針の決定が公表されたことを契機に、その基本理念である取手駅前にぎわい創出に向けた調査研究のため、委員を各地へ派遣しました。

令和6年4月に土浦市（アルカス土浦）、令和7年4月に兵庫県明石市（パピオスあかし・あかし市民図書館）、同年5月に新潟県長岡市（アオーレ長岡・ミライエ長岡）、埼玉県さいたま市大宮区（大宮駅周辺施設）、群馬県太田市（太田市美術館・図書館）にオンラインも活用しながら、効果的かつ効率的に先進地視察を行いました。

本市は、複合公共施設の整備方針に取手駅周辺のにぎわい創出効果を波及させ、まちのさらなる活性化を図ることを掲げており、そのにぎわい創出の中心になるのが図書館機能を核とした複合公共施設であると言えます。

これらの調査結果や社会環境等を勘案し、当委員会として、本市における取手駅前にぎわい創出に向けた検討、取組や施策等について、執行機関へ現状調査を行い、委員間で討議を重ねた結果、複合公共施設について、下記の事項を提言します。

記

- 1 意見公募やアンケートのみならず、市主導の意見交換会やワークショップなどを行い、様々な意見等を聴取し反映させること。
- 2 地元の特色を生かしたランドマークとして魅力あふれる施設にするため、調査研究を進めること。
- 3 子どもから高齢者まで身近に本を感じることができ、人との交流を重視した市民の居場所になるような施設にしていくこと。